



# 大手町地区で行われる整備について

## 「大手町地区4街区再編整備事業」および「賑わい拠点施設」の計画とは

丸亀市大手町地区4街区は「大手町地区4街区再編整備構想」（平成30年策定）に基づき整備を進めており、4街区のうち北街区に位置する市役所庁舎等複合施設が令和2年度に竣工し、現在、新市民会館の建設が進んでいます。

「大手町地区4街区再編整備構想」策定後に4街区を取り巻く状況も変化しており、大手町地区を丸亀市の都市機能が集積する中心的なエリアとして新たな魅力ある拠点地域となることを目指して、**市庁舎や新市民会館等の公共施設の再配置・整備（シビックサービスゾーン）**、それによって生じた空地と既存の市民ひろばを一体的に活用した街なかの憩いの場の創出（シビックパークゾーン）を行うために、南街区（市民ひろば、緑化駐車場、歩行者空間の一部）の再整備事業として「大手町地区4街区南街区再編整備基本計画」（令和7年）が策定されました。

現在は市民ひろばにおける「賑わい拠点施設」の計画を行っており、市民ひろばや歩行者空間と一体的に利活用できる物産館機能、飲食機能を有する施設の整備を進めています。

### ●将来像及び土地利用の方向性

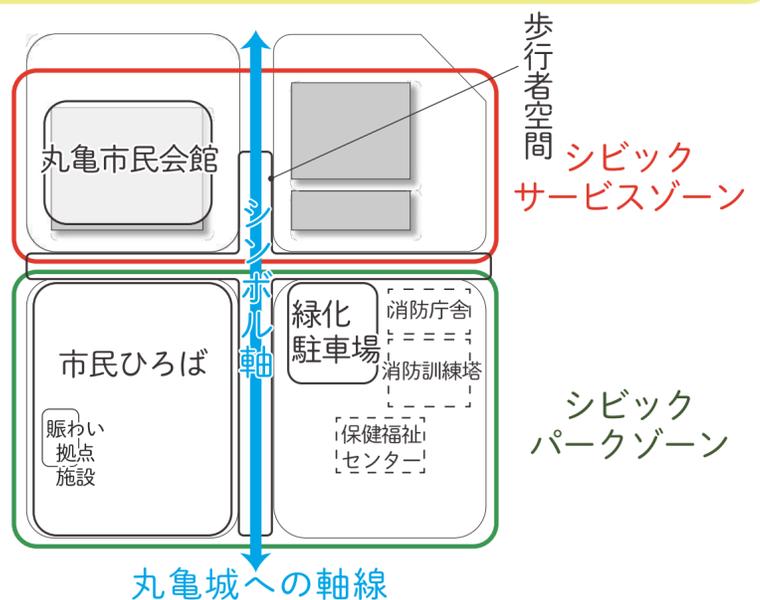
大手町地区4街区の将来像は、整備構想時に以下の通り示されています。

#### 大手町地区4街区の将来像

将来にわたる丸亀市の拠点地域として、シティ・プロモーションによって、**様々な市民が集い、市民が躍動する、「市民の舞台」を目指す**

土地利用については、整備構想時から見直され、4街区の中心を丸亀城への軸線としてのシンボル軸とし、北側に**シビックサービスゾーン**、南側に**シビックパークゾーン**の2つのゾーンが設定されています。**シビックサービスゾーン**では、旧庁舎の跡地を活用した公共施設群の再編により、本市の拠点の魅力を高め、市民サービスの向上に資するゾーンを形成します。**シビックパークゾーン**では、市民ひろばの広場・緑地空間を活かした一体的なオープンスペースを形成します。このように、商店街エリアから丸亀城に向かって公共施設、駐車場、憩いの場というように徐々にオープンな空間となっています。

また現在計画中の賑わい拠点施設は「お城を眺めながら、拠点施設での飲食や観光、物販などを楽しむ、+イベント」のエリアに位置付けられています。



## 大手町地区の整備状況と活動

現在は、市庁舎と丸亀市市民交流活動センター「マルタス」が整備され利用を開始しており、新市民会館の整備工事と並行して南街区が計画中です。

●市庁舎等複合施設 マルタスには、ラウンジや学習スペース、カフェがあり、マルタス登録の活動団体は、DIY教室等講座や市民ひろばでのお祭りの開催等色々な活動をしています。

●市役所西側道路（歩行者空間） 丸亀城への動線として整備された歩行者専用道路は、日常的にベンチでくつろぐ場所としての利用や、マルシェなどのイベント会場として活用されています。

●新市民会館（シアターマド） 現在整備工事中の市民会館は、市民によるワークショップでやってみたい・やるべき活動のアイデアを出し合っており、セミナーや展示、部活動の練習などの意見があがりました。



市民会館完成イメージ



DIY教室の様子



マルシェ (BOOK WEEKEND) の様子



ベンチでくつろぐ高校生の様子



# 整備計画案について

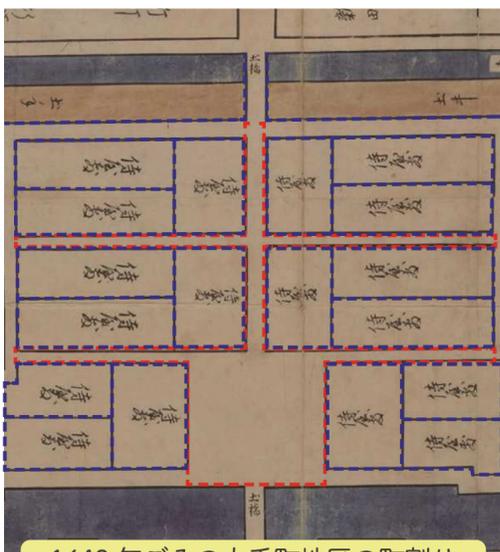
## コンセプト

### 歴史的な風格を感じられる多様な市民の舞台の創出

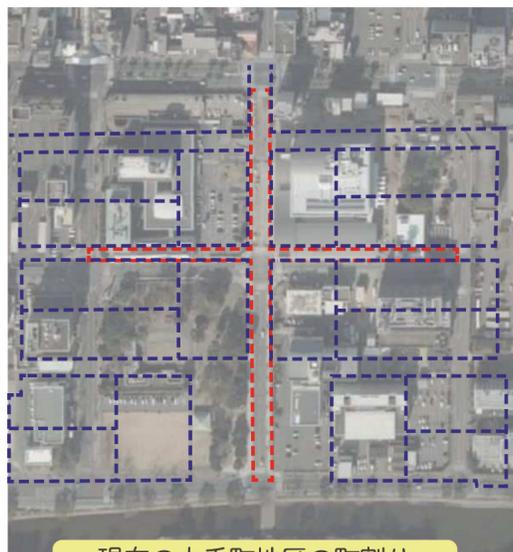
中心市街地において「市民の舞台」を目指す大手町4街区。かつて重臣の屋敷が立ち並ぶ丸亀城下の重要拠点であったこの地のアイデンティティを下地として、市民が誇りを持てる開かれた空間を作り出します。

## 整備方針

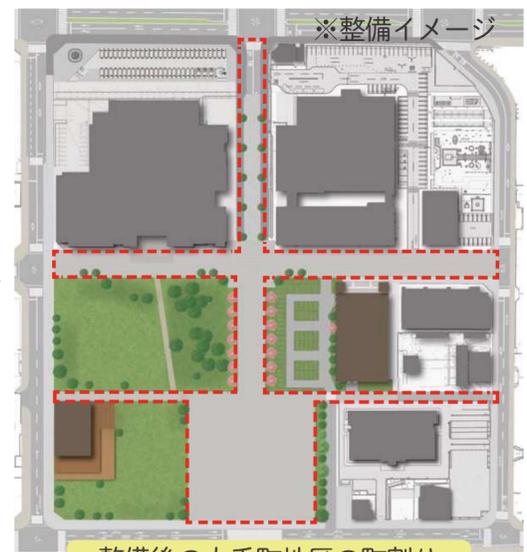
- 整備方針① かつての町割りと丸亀城が象徴的に感じられる空間づくり
  - ・かつての町割りと、大手門の前にあった城前広場を舗装で顕在化する
  - ・丸亀城への眺望を確保し、「活動の先に丸亀城がある」関係性を作り出す



1640年ごろの大手町地区の町割り



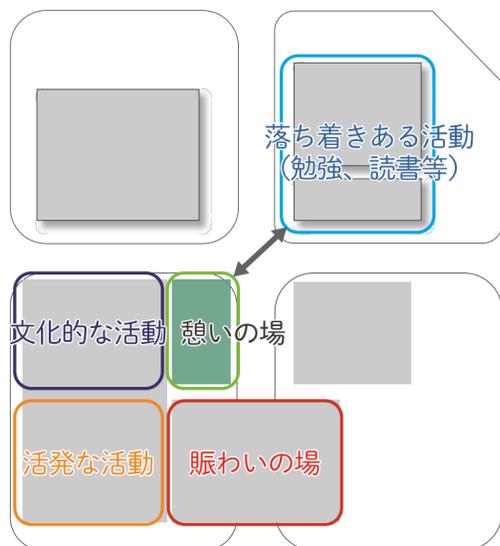
現在の大手町地区の町割り



整備後の大手町地区の町割り

- 整備方針② 多様な活動が共存するエリア分けと協働による場づくり

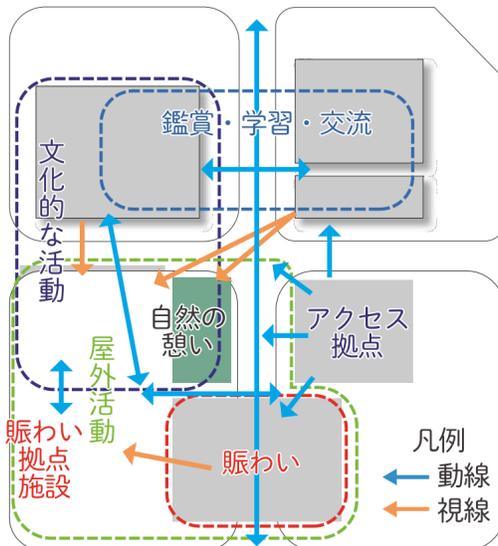
- ・既存樹木を緩衝帯とすることで、マルタスでの落ち着いた活動と、芝生広場での活発な活動を両立させる
- ・活動の特性に応じた大小さまざまな広場を街区内に配置し、多様な活動が集まって共存する場とする
- ・日常/非日常で使えるファニチャー製作などの活発な活動（ワークショップや社会実験）を実施する



多様な活動が共存するエリア分けイメージ

- 整備方針③ 既存施設との隣接関係で連携を強化する施設配置と一体的な運用

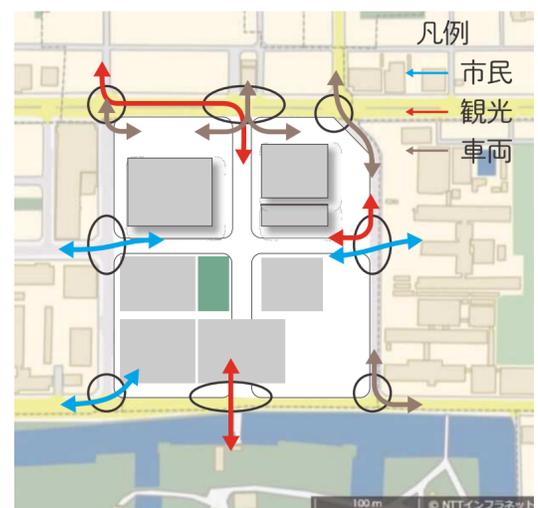
- ・市民会館と南北で対になる位置に屋外活動と密接に繋がる賑わい拠点施設を設置する
- ・市民会館からの文化的な活動、賑わい拠点施設からの観光や飲食・余暇活動、市役所マルタスからの学習交流活動と連携した屋外空間とする
- ・アクセス拠点となる駐車場は、市庁舎や市民会館と隣接させ利便性を高める



施設連携イメージ

- 整備方針④ 周辺エリアとの回遊を促す接点部のデザインとまちなか全体でのソフト施策の展開

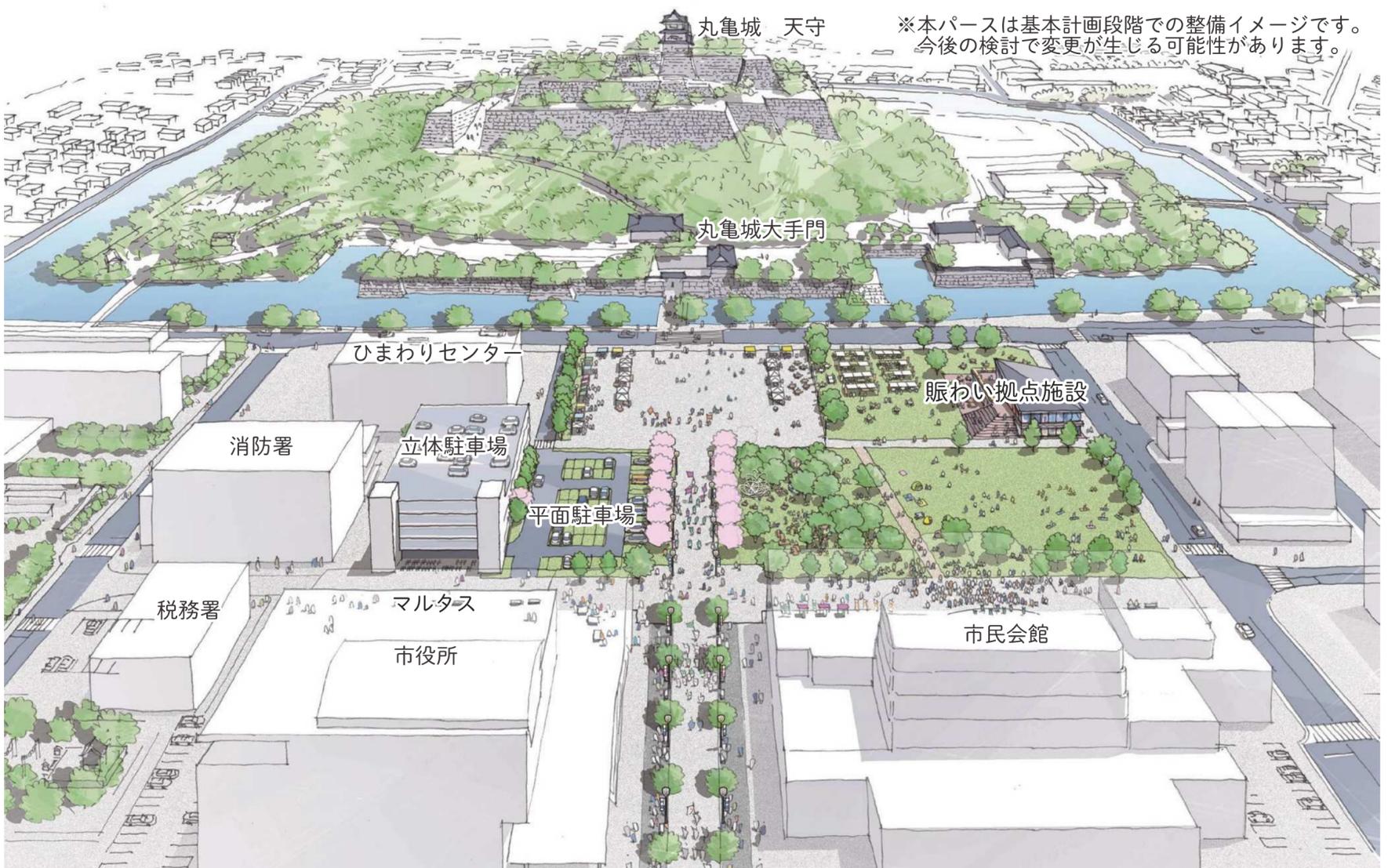
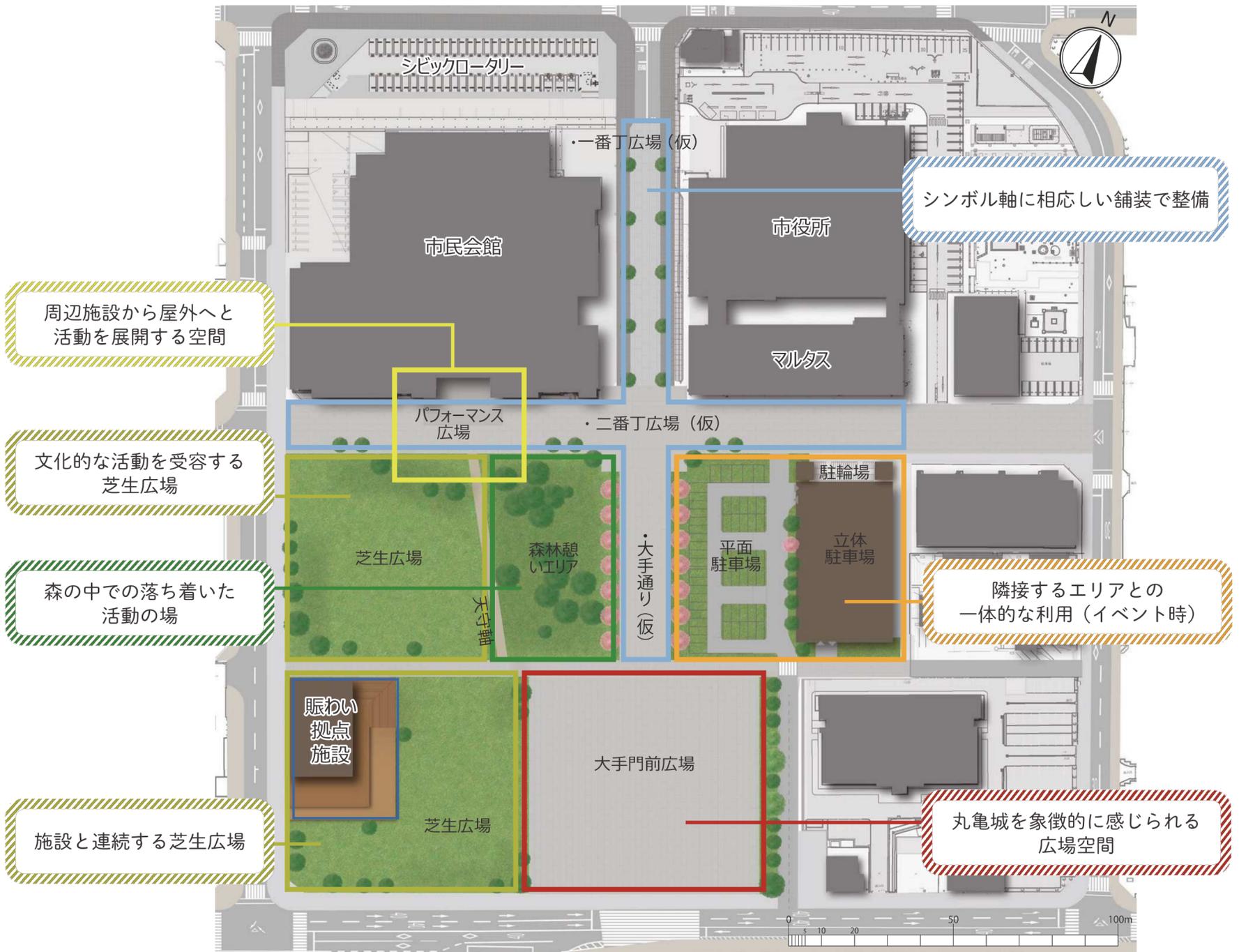
- ・市民・観光客・車両動線の接点に「人々を迎え入れる / まちなか全体でいざなう」デザイン（舗装デザインや誘導・案内・解説サイン、植栽の設置など）を導入する
- ・大手町4街区にとどまらず、港～駅～商店街～大手町地区～城のまちなか全体で一体的に実施できるハード・ソフト施策の展開を見据えた計画とする



動線と境界部の関係性

## 整備イメージ

以下に、4街区南街区の基本計画図とイメージスケッチを示します。





# 拠点施設整備計画案について

## コンセプト

### 丸亀の歴史・文化を発信し、市民の躍動を促す賑わい拠点施設

市民ひろばや歩行者空間と一体的に利活用できる施設とし、観光客や市民向けに丸亀市の魅力発信を行うことで、市民の躍動を促す賑わい拠点施設を実現します。

## 整備方針

### 整備方針 -1

#### 歴史を感じられる空間の創出

- 1-1 丸亀城や市民ひろば、市民会館をはじめとする周辺施設に調和したデザインとする。
- 1-2 丸亀城への眺望を確保し、お城への眺めを楽しみながら食事や休憩することができる展望デッキを設ける。
- 1-3 丸亀のまちの成り立ちや歴史を紹介する展示コーナーを設け、拠点施設からまちへの回遊を促す。

#### ●“丸亀城”を引き立てるデザイン

##### 1-① 城を引き立てる構え

丸亀のシンボルである城の前にふさわしい顔として、建物高さを抑え、屋根形状を天守に誘導する向きとする。深い軒による陰影を生かし、歴史的景観に調和しつつ、現代的機能と市民の誇りを同居させたデザインとする

##### 1-② ヒューマンスケール

深い軒や張り出したデッキ、屋外施設の目隠しなど、市民ひろばや市民会館、通町商店街からのアプローチなどの主要な視点を考慮した、建物のボリュームを感じさせないヒューマンスケールのデザインとする

##### 1-③ 城と調和する意匠

コストや維持管理を考慮した現代的な素材を用いながら、丸亀城と調和するよう、落ち着いたモノトーンの色彩と木質を生かした優しいデザインとする

### 整備方針 -2

#### 丸亀ブランドを発信する場の創出

- 2-1 丸亀ブランドのPR 及び販売促進を行う
- 2-2 丸亀の地場産物を食べることができる飲食・休憩機能を創出する
- 2-3 丸亀を代表する産業である丸亀うちわの製作工程の実演展示及び体験コーナーを設ける

#### ●“丸亀城”を発信し続けるレイアウト

##### 2-① 賑わいが伝播するファサード

外壁を開放的で中の様子が見えるガラス張りとすることで、うちわづくり実演の様子や販売している丸亀ブランドの商品、飲食の賑わいが感じられるレイアウトとする

##### 2-② 地域材を用いた内観

丸亀うちわをイメージした木質内観や、内装材に丸亀市の地域材である青木石の使用を検討することで、丸亀らしさを感じられるデザインとする。観光客に対して丸亀の魅力をPRし、地域住民が愛着を抱けるものとする

##### 2-③ 丸亀らしさを発信する飲食施設

飲食施設は2階に配置し、展望デッキと連続してテラス席を設けることで丸亀城への景色を楽しめる食事の場を提供する。

### 整備方針 -3

#### 市民の舞台である市民ひろばと連携した空間の提供

- 3-1 施設利用者だけでなく、市民ひろば利用者が24時間使えるトイレ機能を提供する
- 3-2 市民ひろばの利用者が施設内外で休憩したり待機したりできる付加機能を充実させる
- 3-3 市民ひろばで使用する備品を適切に維持管理するための倉庫を設ける

#### ●“市民ひろば”と一体的に活用でき賑わいを生み出す仕掛け

##### 3-① 市民ひろばの日常と連続する半屋外空間

広場と同じレベルの1階デッキと大きく張り出した2階デッキが広場で遊ぶ子供の見守りや休憩する利用者の日よけ・雨よけとなる休憩スペースとする

##### 3-② 市民ひろばのイベントと連携する施設

1階、2階、階段状デッキが市民ひろばの芝生スペースの観客席となり、一体的な賑わいを生み出す

##### 3-③ 展望デッキから城を眺める特別な体験

2階デッキから城を眺めながら休憩や飲食ができる、丸亀のここにしかない体験を提供する

整備イメージ

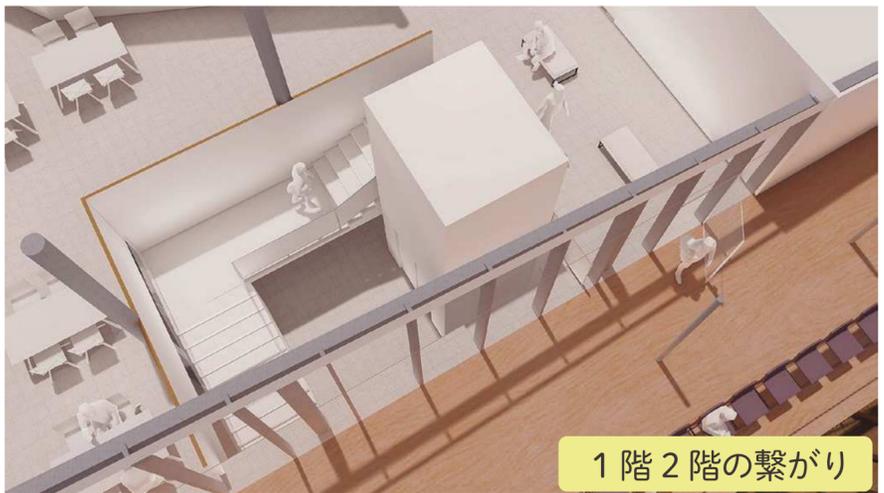
※本パースは基本計画段階での整備イメージです。  
今後の検討で変更が生じる可能性があります。



全体イメージ



うちわづくり実演・地域産品販売



1階2階の繋がり



市民ひろばと連続する半屋外空間



天守に向く屋根形状

